

政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		住宅課
	03	02	01	07	01	

政策
市営住宅の既存ストックの活用

政策の内容

適正な管理戸数の実現に向け、大量の市営住宅ストックの長寿命化・集約化を図るとともに、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設(医療・福祉、買物、文化、公共交通、公園など)は充実していると感じますか。	3.07	3.04				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・市営住宅は、昭和40年代から昭和50年代の人口増加に伴い、住宅の確保に困窮する低額所得世帯へ住宅を供給するために、大量建設を進めてきた。
- ・管理戸数5,695戸(R8.3.31現在)のうち、20年後には約1,500戸(管理戸数の約26%)、30年後には約3,500戸(管理戸数の約61%)が耐用年数を迎える。
- ・厳しい財政状況下において、更新期を迎えつつある老朽化した大量のストックの長寿命化、集約化を図るとともに、適正な維持管理を効率的かつ効果的に進めることが求められている。
- ・令和7年2月19日の定期監査等の結果に関する報告では、近年入居率は70%台前半が続いており、令和4年度末では政令指定都市の中で最も低い状況となっている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,247,688	1,372,979			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	18.4	18.4			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	9.3	13.4			
再任用職員(31時間勤務)	0.7	0.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

※北部都市整備事務所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
市営住宅ストック 総合改善事業	1 市営住宅ストック総合改善事業(国交付金事業) 浜松市公営住宅等長寿命化計画に基づき既存ストックを改修・改善し長期活用を図るとともに、 住環境の改善、安全性の向上を図る 2 市営住宅ストック総合改善事業(単独事業) 国交付金事業と一体的に行う付帯的事業	657,837
市営住宅管理事 業	1 市営住宅維持・保全事業 市営住宅を適正かつ効率的に運営管理し、良好な住環境を保ち居住のセーフティネットとしての 役割を担う 2 市営住宅管理委託事業 指定管理者へ業務委託を行い、施設の修繕及び入居者対応の適正化を図る 3 市営住宅解体・用地管理事業 適正な用地管理を図るとともに、老朽化した施設の解体により、市有地の活用又は処分並びに借 地返還を図る 4 家賃滞納督促・訴訟事業 滞納者へ督促・催告及び法的措置を行い、滞納額を減少させる	694,952
住まいづくり推進 事業	1 住まいづくり推進事業 浜松市住生活基本計画に基づき、少子・高齢化、人口減少社会など近年の社会情勢の変化に対 応した住宅施策を展開し、市民の住生活の安定の確保及び向上の促進を図る	20,190

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
長寿命化工事実施数(戸数)	外壁改修及び屋上防水改修工事実施戸数	外壁改修及び屋上防水改修工事を実施することにより、長期的に良好な市営住宅を確保するため	目標値	-	64	242	203	232	164
			実績値	30	32				
			達成率	-	50%				
解体工事実施数(戸数)	解体工事を実施した戸数	解体工事を実施することにより、集約化を図り適正な管理戸数とするため	目標値	-	20	28	74	172	208
			実績値	19	20				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
入居率(%)	管理戸数の内、政策空家を除く入居率	市営住宅の集約化を進め、適正な維持管理を効率的かつ効果的に進めるため	目標値	-	74.0	73.8	74.6	74.3	75.5
			実績値	73.1	72.0				
			達成率	-	97%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
居住誘導区域内人口密度 (人/ha)	○	本市立地適正化計画に示す 居住誘導区域における人口 密度	実績値	60.0 (2023 年度)	59.7 (2024 年度)					61.5 人/ha
			達成率	98%	97%					
公共交通分担率(%)	○	第5回西遠都市圏パーソナル リップ調査による推計値	実績値	-	4.5 (2022 年度)					5% (2030 年度)
			達成率	-	90%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

都市機能や居住を集約した拠点がそれぞれに活性化し、市全体のにぎわいにつながっている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載